

問 利用者に配慮した
図書館整備

答 子育て中の保護者が
作成する。



市立上福岡図書館「おはなしのへや」

問 単身高齢者のペット
飼育の現状把握は。

答 犬の登録件数から把握した飼育割合は、令和7年10月時点で約1・6%、世帯数では152世帯である。

問 75歳以上の人暮らし高齢者や希望者を対象とした緊急時高齢者あんしん台帳にペットに関する項目を設けては。

答 前向きに検討し、万が一に備える重要性の啓発を進める。

問 ふじみ野市版ペットの防災手帳及び緊急カードを配布しては。

答 市民が親しみやすいよう、ふじみんのイラストを活用し、誰にでも分かりやすいものを本年度作成する。

問 人とペットが安心して暮らせる社会

川畑 京子 議員



人とペットが安心して暮らせる社会

川畑 京子 議員



人とペットが安心して暮らせる社会

川畑 京子 議員



人とペットが安心して暮らせる社会

川畑 京子 議員



人とペットが安心して暮らせる社会

川畑 京子 議員



人とペットが安心して暮らせる社会

川畑 京子 議員



問 令和8年4月1日施行の自転車交通反則通告制度の周知は。

答 市報3月号での特集や市ホームページに掲載するなど、改正内容の情報提供に努める。

問 道路交通法の改正に基づく自転車の安全講習は。

答 警察での交通安全講習について、各自治組織の会長へ郵送で情報提供をしている。また、警察の協力のもと関係団体と連携し、交通反則通告制度に関する講習会の準備を進めている。



自転車の交通安全教室

ルールの周知

鈴木 美恵 議員



導入を見越して

鈴木 宏樹 議員



問 学校に安心できる居場所を

答 学校に行きづらい子どもが校内で安心して過ごせる居場所が必要で、先生や親ではないナナメの関係も大切では。相談室などを地域の人との交流や居場所として活用している学校もある。

問 東原小学校に整備予定の多目的室の活用は。



令和11年4月に特別支援学校に生まれ変わる

問 特別支援学校へ

答 建設予定の県立特別支援学校への市の関わりは。市と県で調整会議を設け、設計やスケジュールを協議している。地域説明会の意見も県と共有し、施設の地域開放などを要望していく。

問 当事者や地域が対面やデジタルで意見を出す場を設けるべきでは。

答 今後も情報提供や意見交換について県と調整してみたいと考える。

問 地域に開かれた特別支援学校へ

小林 久美 議員



地域に開かれた特別支援学校へ

小林 久美 議員



地域に開かれた特別支援学校へ

小林 久美 議員



地域に開かれた特別支援学校へ

小林 久美 議員



地域に開かれた特別支援学校へ

小林 久美 議員



問 2026年4月1日から自転車への交通反則制度(青切符)の導入

答 6年生は警察の指導の下は正しい乗り方を、中学生はスケアードストレイトで交通安全教育を行っている。

問 シルバー世代に対してのヘルメット購入補助

答 市内小学校3年生から6年生は警察の指導の下は正しい乗り方を、中学生はスケアードストレイトで交通安全教育を行っている。

問 認知症介護者の負担軽減

答 認知症ケア技法ユマニチュードの推進は。介護事業所や介護施設職員、介護サービス相談員を対象とした研修に取り入れている。

問 認知症介護者の負担軽減

答 認知症ケア技法ユマニチュードの推進は。介護事業所や介護施設職員、介護サービス相談員を対象とした研修に取り入れている。

問 街路灯の補助と今後の維持更新は。

答 撤去等に3分の1、LED化の経費の2分の1を補助している。

問 街路灯の補助と今後の維持更新は。

答 撤去等に3分の1、LED化の経費の2分の1を補助している。

問 マンホール蓋の利活用を

答 デザインマンホール蓋が設置されているが、マンホールカードを市内イベント等で配布していく。

問 マンホール蓋の利活用を

答 デザインマンホール蓋が設置されているが、マンホールカードを市内イベント等で配布していく。

問 循環型社会推進の取り組みを

答 受験生の応援と下水道事業のPRを兼ねて、合格祈願マンホールコスターを配布する。

問 マンホール蓋広告を市内企業や商店会等と連携して試行的導入をして

答 デザインマンホール蓋を通じPR活動を継続し、導入事例を参考に研究を継続していく。

問 特別支援学校の開設

答 市と県が連携した推進体制は。

答 令和11年度に休校の東台小学校を活用し、県が特別支援学校の開設を予定している。

答 令和7年度から、市は調整会議を立ち上げ、県と総合的な調整を行っている。細かな調整事項は、個別案件ごとに担当課等が県と連絡を取れる体制を整えている。



入所保留児童の解消

床井 紀範 議員



入所保留児童の解消

床井 紀範 議員



入所保留児童の解消

床井 紀範 議員



問 新年度の保育所入所申請後に、当該年度の申請を継続して行うべきでは。

答 1月から3月の入所選考の実施の要望はない。しかし、保育所の入所選考の在り方等を検討する中で、効果や影響を検証していく。

問 下の子の出産で保護者が育児休業を取得するが退園を余儀なくされる教育休園問題がある。改

問 デザインマンホール蓋が設置されているが、マンホールカードを市内イベント等で配布していく。

問 デザインマンホール蓋が設置されているが、マンホールカードを市内イベント等で配布していく。

問 マンホール蓋の利活用を

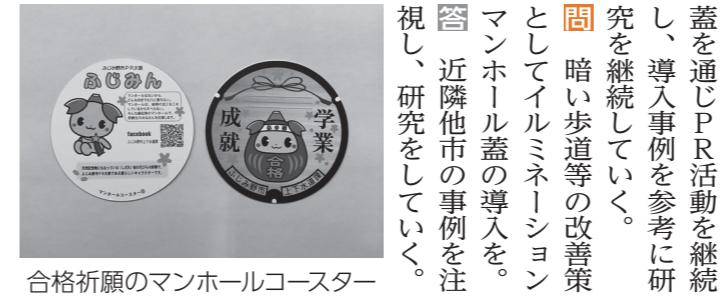
答 デザインマンホール蓋が設置されているが、マンホールカードを市内イベント等で配布していく。

問 循環型社会推進の取り組みを

答 受験生の応援と下水道事業のPRを兼ねて、合格祈願マンホールコスターを配布する。

問 マンホール蓋広告を市内企業や商店会等と連携して試行的導入をして

答 デザインマンホール蓋を通じPR活動を継続し、導入事例を参考に研究を継続していく。



循環型社会推進の取り組みを

前田 広子 議員

